

令和6年第4回定例会(12月議会)の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和6年第4回定例市議会（12月議会）は、11月25日から12月20日の26日間開催されました。令和6年度一般会計補正予算等の予算議案4件、条例議案7件、その他議案9件、人事案件2件、報告案件5件、意見書1件、一般会計補正予算に対する修正案1件の計29件が上程され、修正案を除き原案どおり可決しました。

令和6年12月議会一般質問の概要

■私は、代表質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 新学校給食調理場の建設

- ①PFI法に基づく特定事業の選定及び評価について
- ②民間事業者の募集及び選定スケジュール
- ③事業にかかる債務負担行為の予算措置 ④用地、PFI事業の契約議決の時期
- ⑤提案審査における地域経済への配慮 ⑥リスク分担の考え方 ⑦食器の選定
- ⑧給食費の見直し ⑨食物アレルギー対応食 ⑩緑化の推進
- ⑪施設の建築構造体の耐震安全性 ⑫停電に対する措置 ⑬残渣のたい肥化
- ⑭建設費(約43億円)の妥当性 ⑮財政に与える影響

2. 持続可能な財政運営に向けて

- ①令和6年度版財政推計
- ②持続可能な財政運営に向けて

3. 園児、児童の登校班の再編

- ①幼稚園児、小学生の登校の現状
- ②登下校中の不審者による声掛けや事故、ケガ件数
- ③教育委員会の集団登校に対する考え方と学校での取組み
- ④集団登校の再編に向けて



【[一般質問議事録抜粋](#)】

【[一般質問配付資料](#)】

令和6年12月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1. 令和6年度一般会計補正予算(第4・5号) 補正額13億7931万円(補正後予算額489億7503万円)

《新規・拡充事業（抜粋）》

□庁舎整備事業；1億450万円

- ・本庁舎3階機械室内の空調設備（大型送風器2台）の老朽化に伴う更新工事
- ・現在工事中の機械等の整備は年内に完了予定



本庁舎機械室内の空調設備

□児童福祉運営事業；1億6899万円

(内国庫支出金8606万円、県補助金4076万円)

- ・私立保育所等の公定価格（人件費等）の見直しによる増額
- ・補正後予算額；33億9340万円



□障害児通所給付費；5115万円

(内国庫支出金2558万円、県補助金1279万円)

- ・利用者延べ人数が増加したことによる増額
- ・補正後予算額；6億6158万円

□子ども医療費助成事業；1037万円

(内県補助金519万円)

- ・高校生分の子ども医療費助成額が増加したことによる増額
- ・補正後予算額；3億6956万円

□ごみ処理施設整備事業；58万円

- ・中津市クリーンプラザの老朽化に伴う建て替え整備に向け、一般廃棄物処理施設整備検討委員会の設置を行うための委員報酬、交通費（4名分）
- ・委員は学識経験者等4名及び行政関係者として中津市副市長と上毛町副町長を予定
- ・完成予定年度；令和15年度



・令和6年12月16日(月)に、中津市と上毛町は、ごみの広域処理に向けた協議を進めることについて、基本合意書を締結

◇基本合意書の内容

1. ごみの広域処理の枠組みについて
2. ごみ処理施設の建設地について
3. ごみの広域処理に向けた協議会の設置について 等

□中津市中学校体育連盟補助金事業；161万円

- 中津市中学校体育連盟に対して、大会の運営経費や派遣経費、生徒輸送経費などを補助する。
- 貸切バス代高騰に伴う、生徒輸送に係る交通費の増額
- 補正後予算額；1780万円

□名樹とのふれあい事業；45万円（内県補助金；45万円）

- 樹木医の診断により樹勢の悪化や倒木の恐れなどがある県指定の特定保護樹木の治療を行う。
- 対象：光円寺のシダレザクラ（耶馬溪町）

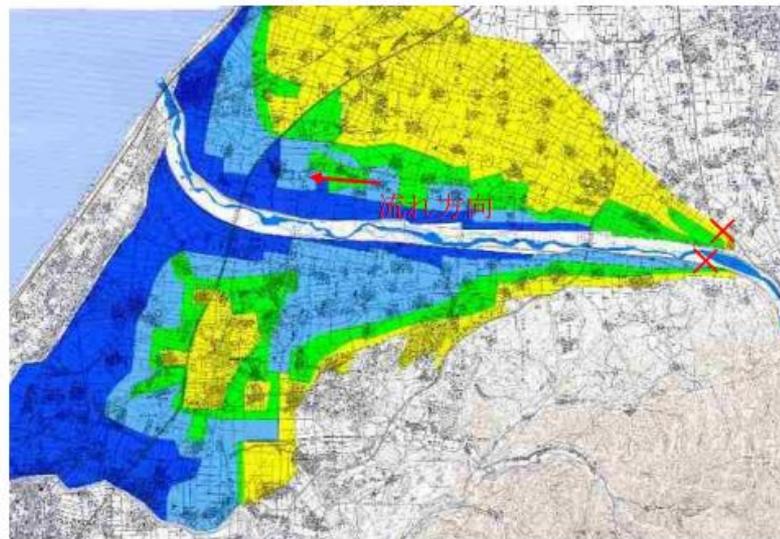
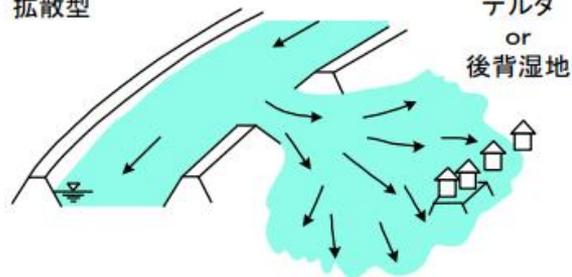


□中小河川ハザードマップ作成事業；1550万円

(内国庫支出金517万円、県補助金；517万円)

- 水防法の規定により、大分県が作成した中小河川の浸水想定区域図を基に、市が中小河川ハザードマップを作成する。

拡散型



拡散型氾濫

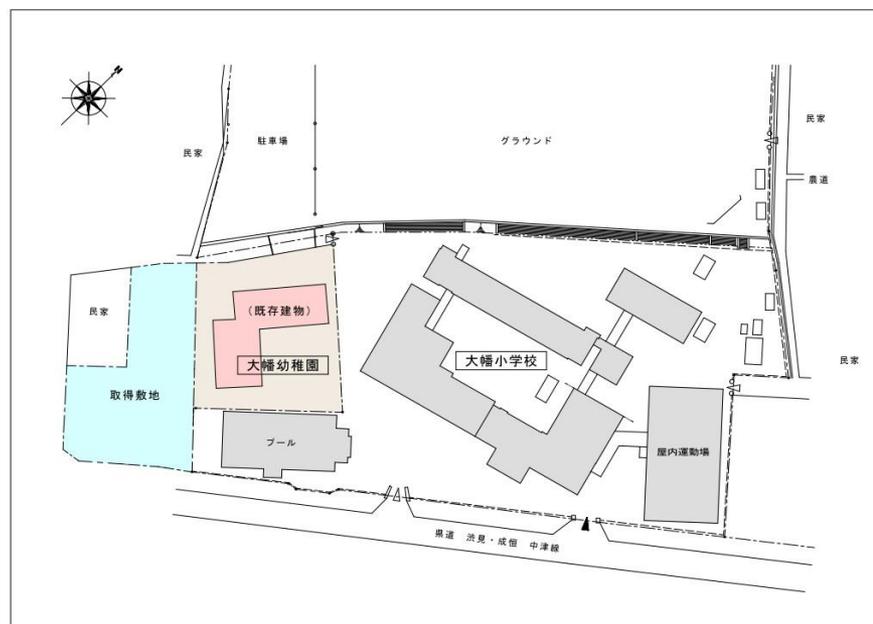
図-5.1 はん濫形態ごとの浸水区域の例

□大幡幼稚園改築事業；1億1678万円

- ・ 建築後66年を経過し、老朽の著しい大幡幼稚園を建て替え、教育施設の環境改善を図る。（事業年度：令和6～8年度）
- ・ 土地開発基金にて先行取得済みの用地の買戻し経費
- ・ 用地面積；約1,452m²
- ・ 幼稚園と放課後児童クラブを併設して建設



老朽化した大幡幼稚園



□住民税非課税世帯給付金事業；3億7096万円

(内国庫支出金3億7096万円)

- ・ エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯等に対して給付金を給付する。
- ・ 給付額；1世帯当たり3万円
- ・ 支給対象者見込；12,000世帯
- ・ 給付時期；3月中



□低所得者の子育て世帯加算給付金事業；2400万円

(内国庫支出金2400万円)

- ・ 住民税非課税世帯のうち、子育て世帯に対して加算給付金を給付する。
- ・ 給付額；18歳以下の児童1人当たり2万円
- ・ 支給対象者見込；児童数1,200人（800世帯）
- ・ 給付時期；3月中

《令和6年台風10号に係る災害復旧事業（抜粋）》

□農地及び農業用施設災害復旧事業；4473万円
（内県補助金；3762万円）

- ・ 耶馬溪町大城地区、家籠、中村地区、山国町吉野、毛谷村地区など

□林業用施設災害復旧事業；200万円

- ・ 山国町宇治藤原線、長尾野線、上志川線、堤大勢線など

□観光施設災害復旧事業；353万円

- ・ 八面山荘（三光）、所小野不動尊遊歩道（山国）など



深耶馬大城地区



川原口中村地区

《債務負担行為》

※債務負担行為とは、将来にわたる債務を負担することを定めた行為で一般家庭に例えると「ローン」にあたり、議会がローンを組むことを認めるものです。

□可搬式排水ポンプ購入費

- 限度額 2億2200万円
- 期間；令和7年度まで
- 大雨による浸水への防災対策として、仮設ポンプを設置している堀川地区と三ノ丁地区に排水能力の強化を目的に可搬式ポンプを導入する。
- 排水能力；22トン／分
⇒45トン／分

ハイドロサブ 150 (HS150)



● 特徴

HS150は、専用ディーゼルエンジンで油圧水中ポンプを駆動する自己完結型の大型移動式大容量送・排水ポンプシステムです。HS60よりもさらに高落差に対応することが可能です。

標準水中ポンプをハイフローインベラーやスーパーハイフローポンプに交換することで送・排水量を増やすことができます。

さらに3台のフラッドポンプと300mmホースを使用することで毎分45トンの大容量の排水が可能になります。

送水



HS150 標準送水ポンプ
吐水圧 1.2MPa・毎分 3,000ℓまで送水可能

排水



HS150 フラッドポンプ ×3台
吐水圧 0.2MPa・毎分 45,000ℓまで排水可能

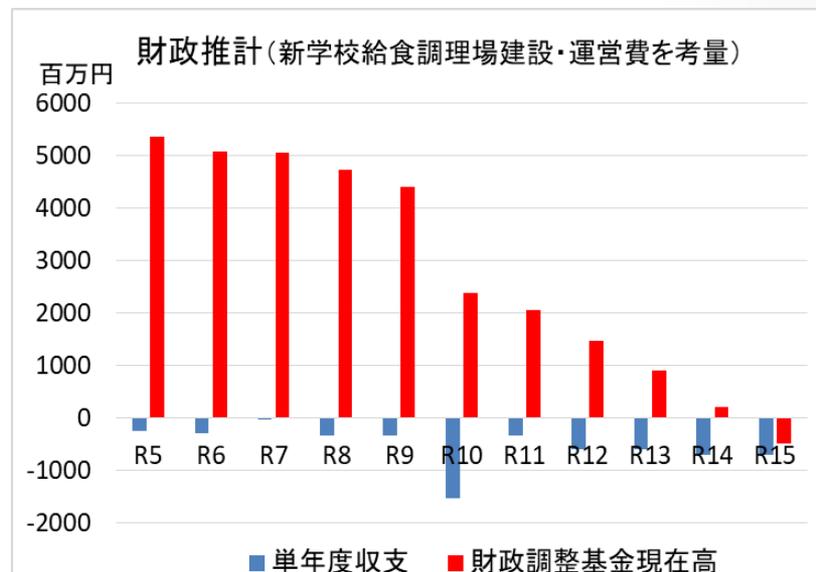
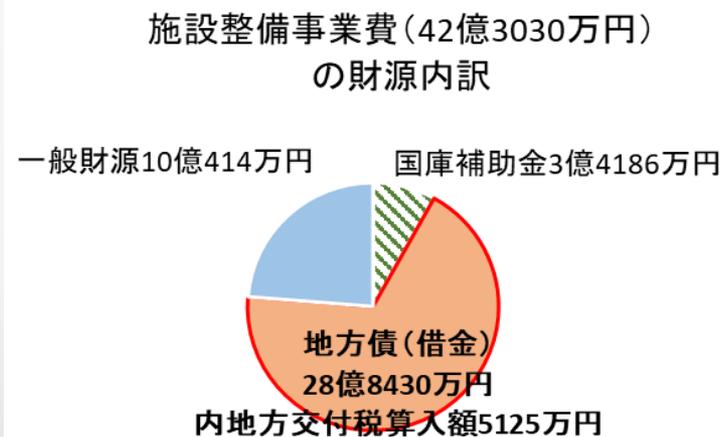


HS150 / ボンバー4000が震災速水システムと市町村の水害対応を可能にする！
ハイドロサブ HS150 ポンプ性能

Flow [L/min]	HS150 標準インベラー [MPa]	HS150 ハイフローインベラー [MPa]	HS150 スーパーハイフローポンプ [MPa]	HS150 フラッドポンプ (X3台) システム [MPa]
0	1.4	1.4	1.4	1.4
5000	1.2	1.2	1.2	1.2
10000	1.0	1.0	1.0	1.0
15000	0.8	0.8	0.8	0.8
20000	0.6	0.6	0.6	0.6
25000	0.4	0.4	0.4	0.4
30000	0.2	0.2	0.2	0.2
35000	0.1	0.1	0.1	0.1
40000	0.0	0.0	0.0	0.0
45000	0.0	0.0	0.0	0.0
50000	0.0	0.0	0.0	0.0

□ (仮称) 中津市新学校給食共同調理場整備運営事業

- 限度額 94億3071万円
- 内訳；建設費用：40億3766万円、運営費用：53億9350万円
- 期間；令和25年度まで
- 新たな学校給食整備運営事業の事業手法として、「PFI法」に基づき「施設の設計・建設・維持管理・運営」を長期かつ一体的に民間事業者任せ、効率的な整備・運営を行う。
- 令和6年12月末より入札手続きを開始するため、債務負担行為を設定



市のR5年度版財政推計に調理場建設事業・運営費を追加し、R15年度まで推計したもの(大塚作成)

「議案第88号 令和6年度中津市一般会計補正予算 (第5号)の修正案」を議員提案

(提出者;大塚・川内・荒木・三上議員)

【修正案の内容】

補正予算の原案から「債務負担行為補正の『(仮称)中津市新学校給食共同調理場整備運営事業』の期間;令和25年度まで、限度額;94億3070万5千円」を削除する。

【提案の理由】

債務負担行為とは、将来にわたる債務を負担することを定める行為です。一般家庭に例えると「ローン」にあたり、議会が約94億円(内訳として建設費用:40億3765万8千円、運営費用:53億9304万7千円)のローンを組むことの可否をこの場で判断しなければなりません。

これまでの教育委員会の説明で、市内の学校給食共同調理場の抱える課題を踏まえ、新たな調理場建設や第1共同調理場改修の必要性は共有することができました。

私も、子ども達に安全・安心な給食の提供はもとより、美味しい、わくわくする地元食材を使った給食を提供したいという思いは同じです。

(次のシートに続く)

しかし、今回のPFI法に基づく、施設の設計・建設・維持管理・運営を長期かつ一体的に民間事業者にゆだねるPFI事業については、以下の理由により十分な説明責任を果たすとともに、財政に与える影響やPFI事業を検証するための資料の提示、市民意見の聴取を行う必要があるため、じっくり腰を据えて検討していくべきと考えます。

1. PFI法による今回の事業のメリット、デメリットの検証が不十分であること
2. 12月末に公表するPFI法第7条に基づく特定事業の選定にあたって、客観的評価結果等の検証結果が議会に説明されていないこと
3. PFI法第5条第3項の規定により公表された実施方針及び要求水準書が議会に説明されていないこと
4. 使用される食器の選定にあたって、事前に市民意見を聴取する計画がないこと
5. 債務負担行為補正の期間、限度額設定の妥当性を判断する資料の提示と納得できる説明が行われていないこと
6. 今回の調理場整備が将来の市財政に与える影響を判断するためには、新清掃工場が建設される10年先までの財政推計が必要であり、今日の段階では市財政が持ちこたえられるという判断ができないこと

特に、今回の「新学校給食共同調理場整備」や「新清掃工場建設」などの大型事業を実施しても「市の財政は大丈夫」と確信できなければ、約94億円の財務負担行為を認めるわけにはいきません。

【採決の結果】 賛成少数で否決（相良議長を除く）

・修正案に賛成；大塚・川内・荒木議員、欠席；三上・山影議員、反対17名

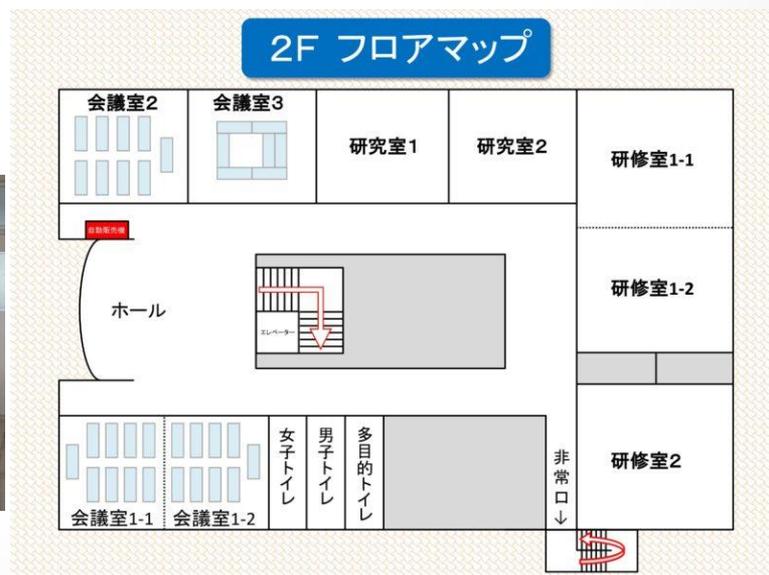
2. 条例の一部改正(抜粋)

□中津市立保育所設置条例の一部改正

- ・市立八千代保育園を民営化するため廃止する。

□なかつ情報プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正

- ・情報プラザの近年の利用状況を踏まえ、開館時間及び休日を変更するとともに、会議室及び研修室の一部を統廃合するもの
- ・日曜日、祝日を休日とし、平日の閉館時刻を午後9時まで⇒午後6時までに変更



3. 財産の取得

②取得する物；(仮称)中津市新学校給食共同調理場整備運営事業用地

- 所在地；永添2684 番7
- 地積；14,005.37m²
- 取得価格；299,719,337 円
- 相手方；中津市土地開発公社

新給食調理場建設予定地と周辺地図



①取得する物； FM 告知放送端末（590台）

- 取得価格；21,903,750円
- 相手方；NECフィールディング大分支店
- 設置件数；5,810件
- 当初設置した分から随時更新を行う。



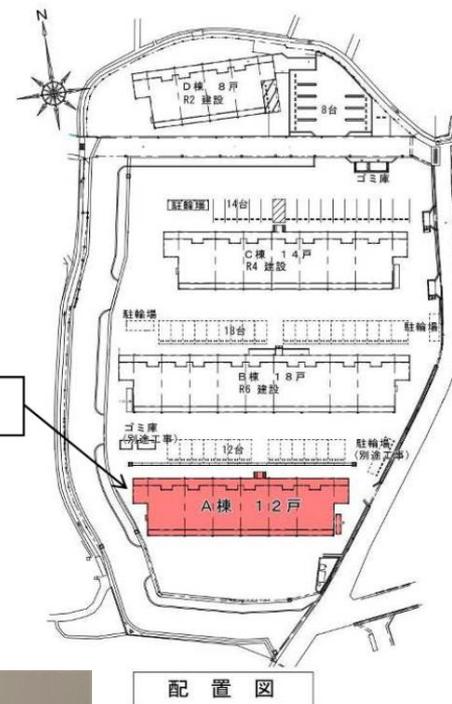
告知放送戸別受信機（旧型）



告知放送戸別受信機（新型）

4. 工事請負契約の締結について

- 契約の目的 市営高瀬住宅(A棟)建築工事
- 契約金額；209,550,000円
- 工事の概要；建築工事一式、鉄筋コンクリート造2階建 延床面積768.37㎡
- 戸数；3LDK4戸、2DK8戸、計12戸
- 工期；令和6年度～7年度
- 契約の相手方；梶原・M・ZEC建設工事共同企業体



高瀬住宅B棟南側



高瀬住宅内装



5. 意見書【採択】

□学校の働き方改革推進のための長時間労働是正を求める意見書



今、学校現場においては、教員希望者の減少に加え、病気休職者の増加や早期退職者の増加など、深刻な教職員不足により子どもたちの学びに大きな影響が出ています。よって、国会および政府におかれては、学校の長時間労働是正に資する政策が実行されるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

1. 長時間労働の一因となっている給特法について、教員のいのちと健康が守られるように見直しを検討すること
2. 学習指導要領の内容の精選や標準授業時数の削減等を行うとともに、部活動の地域移行を財源確保のもと、さらに進めること
3. 子どもたちの学びの充実や教育環境の整備に向け、人の配置・確保も含め、必要な財源確保等を行うこと

5. 自由討議

(1) 効果的な主権者教育の実施について（補足説明者：瀏野議員）

- ①今年10月の衆議院選挙において、大分県の中でも中津市の投票率はなぜ低かったのか
- ②中津市で取り組める主権者教育にはどのようなものがあるか



【私の提言】

令和元年11月、北部小学校で開催された「ようこそ先輩ふれあい授業」で、6年3組の子ども達に「議会、議員の仕事とは」と題してお話をしました。

子ども達の声が議会に反映する機会が少ないので、「困りごとや要望」を紙に書いてもらい、即答できる問題はその場で回答しましたが、「ランドセルが重い、通学路の問題」などの問題は、次の12月議会で取り上げ、その状況をお知らせしました。

授業が終わって、後日、子ども達からお礼の手紙が届き、議会、議員の仕事に興味をもってもらえたことが分かりました。

そこで、積極的に議員が学校に出向き、子ども達の意見を聞く場を設けては如何でしょうか。